

# バスは行く!

第10回～別府温泉一泊!の旅～

2003年5月10～11日

参加者 16名  
スタッフ10名



宇佐神宮で記念写真、ハイ、千～ス!

みなさんの熱いご要望にお応えし、大同商会さんの全面的なご協力を得て、ついに待望の温泉一泊のバスハイクが実現しました!

今回の目的地は別府、温泉の代名詞です。一泊ということで準備も実行もいつもよりかなり大変でしたが、参加されたみなさんにはご好評をいただけたようです。今回は、その裏話をちょっと...

計画段階で一番頭を悩ますのがコスト、つまり、参加費をいかに安く抑えるかということ。今回は苦勞して送迎のホテルを探し貸切のバス代をカットできましたが、それでもHOTのみなさんに安全・快適に楽しんでいただくためにはそれなりの金額になってしまいます。また、観光地やホテルでの段差、トイレや風呂へのアクセスなど、不自由なく楽しんでいただけるか入念な下見を行ってコースを決定いたします。

当日は、医師、理学療法士、看護師、在宅酸素業者が同行し、不安のない旅行ができるよう万全の体制をとっています。出発前から帰ってくるまで、参加者のみなさん体調、携帯酸素機器の調子や残量のチェックを絶えず行います。また、今回は一泊ということで、就寝前の診察、夜のお部屋の見回りを行っています。

このように、いろいろと大変なバスハイクですが、みなさんの楽しんでいる笑顔を見ると、その疲れもどこえやら。また一泊のバスハイクを是非、という声にお応えし、年2回のバスハイクのうち、春のバスハイクを一泊で行えればと考えています。帝人、藤沢など取り扱いの在宅酸素患者さんも、みなさん参加されています。これからもみなさんのご理解、ご支援、ご参加をよろしくお祈りします!



恵友会スタッフの  
見送りを受けて出発～



別府といえど地獄めぐり!



バスの中でもこまめに  
体調チェックします。



今回も院長が飛び入り!  
宴会はいつも盛り上がります!



夜に備えて機器や酸素を搬入



寝る前にしっかりと  
酸素機器をセットアップ